

平成 27 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

障害福祉サービス多機能型事業所

奥戸福祉館

I 運営全般

1 運営総括

今年度は4名の入所で生活介護事業所が32名、就労継続B型事業所が29名の合計61名でスタートした。1名が高齢のためデイサービス利用をするため退所、1名が清掃作業で就職し生活介護事業所31名就労継続B型が28名の59名だった。

利用者関係では個別支援計画、中間見直し、一年間のまとめを行った。自分の目標を意識してもらい実現できるように支援した。

パン販売のチラシ配り、配達納品は全館で協力しあい積極的に行った。南葛SCに営業をかけコラボレーションができることになり地域社会への積極的参加、販路拡大の足がかりとなった。

受託作業ではあらたに福祉館と寮生宅の掃除、法人共同墓地などの掃除をはじめた。利用者も積極的にとりくんでいる。

作業だけでなくグループ外出、学習外出、創作活動、シルバー外出等余暇活動も行った。

6月に家族連絡会でGHに入っている家族の話を聞く会、7月に「成人期ダウン症の支援」の内部研修、虐待防止委員会では虐待防止の講義、残業や仕事に対する姿勢について社会保険労務士の方に話をしてもらった。

第三者評価を受審し、マニュアル化、可視化の重要性を指摘された。

奥戸福祉館の今後については「ありがた会議」や工賃アップの話し合いを行い課題の確認を行ったが将来の展望までの議論の深まりには至らなかった。

新館長、新しい職員5名を迎えスタートしたが年度途中で主任が退職することになってしまった。

利用者には特に大きな問題はなかったがパン作業では受注ミスが続き改善のための話し合いを持ちコミュニケーションのとりかた、仕事のあり方など職員間で見直す良い機会となった。

職員教育については新人職員にはOJT、法人主催のフォローアップ研修、主任研修、外部の研修も積極的に参加した。また一人ひとりに育成計画作成、中間見直し、職員面談を行った。

II 利用者支援

1 事業活動

(1) 就労継続B型事業所

食品製造販売グループ【パン製造販売&給食配膳】

利用者は、製造に1名・販売に1名が新たに加わった。1名の利用者が7月に体調不

良で入院したが現在は元気に通所している。

パン製造作業ではどの作業も利用者主体で携われるよう環境を作り、今年も利用者のデザインしたパンが販売できた。材料の高騰が続いているので、純利益向上のため今後価格改正が必要とされる。製造会議を開き、新商品の開発や現状の作業見直しの話し合いをおこなった。

販売活動では、今年度より企業 2 社での月 1 回の販売会が定着し、あらたに保育園 3 園に納品を行った。今年も地域イベントに積極的に参加し、秋から利用者職員共に連日休日出勤、早出、残業をし、また軽作業グループには、配達やチラシ配りや販売の協力を得て福祉館一丸となって取り組むことができた。地域周辺の保育園、学校関係に協力販売をお願いした。広報活動では地域へのチラシ配りを積極的に行い、ブログも活用しアピールした。

売上表をグラフ化し掲示したこと、目標額を達成した販売会に対し大入り袋を支給したことで、売り上げに対する意識が芽生え達成感を感じることができた。

衛生・事故に気を付けていたが、事故が相次ぎ改善策を話し合った。担当が分散されていたのを整理し、今年度からパン販売事務を置き、管理部を作りシステムを改めた。また業務の可視化を考慮し、マニュアル作りに取り組んでいる。

ひまわり保育園との地域交流は、先方の予定が合わず実現できなかった。

研修内容を実践し、工賃向上会議を設け、目標達成の為の課題をあげ PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを取り入れ、業務を進めていった。

コンサルタントの指導を受けて、エビカツバーガー、チキンカツバーガーの新商品と、キャンペーン商品も開発した。営業では、昨年度末に企業 1 社で毎日の販売をしていたが、先方の事情で販売中止となった。また他の企業にも販売申請を進めていたが実現に至っていない。その売上分は確保できなかったが、昨年度より全体の売上実績は伸びた。

6月に南葛 SC に営業をかけナンカツバーガーが南葛 SC の公認バーガーとなった。

ユニホームを一新し、2016 年 1 月 10 日にお披露目の販売を行った。3 月からは南葛 SC の試合やイベントで販売している。

売上実績 19,499,715 円（目標：2400 万円）

○販売活動内容

| | |
|---------------------|-------------|
| ・SBB | 5,742,000 円 |
| ・プラスチック | 2,280,842 円 |
| ・保育園等給食用 | 2,869,989 円 |
| ・学童クラブおやつ用 | 391,381 円 |
| ・おくどやももちゃん | 1,081,410 円 |
| ・ぱぱず移動販売車販売 | 652,870 円 |
| ・ミモザ販売 | 383,765 円 |
| ・定期食パン販売 | 894,760 円 |
| ・協力販売 | 219,700 円 |
| ・明治安田生命、新生 PI | 727,655 円 |
| ・東急ストア | 439,885 円 |
| ・販売会（外部販売）あやめ、愛の家含む | 2,192,676 円 |
| ・やまもも、謝礼等、その他 | 1,622,782 円 |

実施した販売会

- 4/6 さくら祭り
- 4/24 新小岩葬儀場
- 5/3 ふれあい祭り（移動販売車）
- 6/24 区役所合同販売会
- 7/9・16 元気野菜販売会
- 9/15 かつしか障害者雇用フェア
- 10/3 東京拘置所販売会（移動販売車）
- 10/4 みのり商店街
- 10/4 かつしか環境緑化フェア（移動販売車）
- 10/10 プラスチョイス秋祭り（移動販売車）
- 10/12 スポーツフェスティバル（移動販売車）
- 10/18 福田幼稚園販売会
- 11/1 ひまわり保育園創立記念日（移動販売車）
- 11/8 ゴミ清掃・減量フェア
- 11/13・14 新小岩南地区センター販売会
- 11/15 青戸もも保育園販売会
- 11/21・22 東京理科大学学園祭
- 11/29 青戸福祉保育園販売会
- 12/9 区役所合同販売会
- 12/10・17 元気野菜販売会
- 1/10 キャプテン翼カップ（移動販売車）
- 2/3 区役所合同販売会
- 3/5 パルフェスタ（移動販売車）
- 4/23, 5/21, 6/25, 7/16, 8/19, 9/17, 11/19, 12/17, 1/21, 東急ストア（移動販売車）
- 6/20, 7/11, 8/29, 9/19, 11/28, 1/23, 2/20 ビバホーム（移動販売車）

給食配膳作業では、新たに1名の利用者が増えた。作業工程を工夫し、利用者が全ての作業に携わることで作業意欲向上につながられ、自信をもって作業に取り組むことができた。

給食配膳作業手数料 1,471,016円（目標：158.5万円）

月1回、衛生・販売マナー等のテーマで講座を開いた。また外部講師を招き、衛生講座（1/28）、健康講座（2/15）、身だしなみ講座（3/22）、接客マナー講座（イトーヨーカドー、スワンベーカーリーに申請中）を企画し、意識向上を図った。

毎日、手洗い・定期清掃・爪・白衣・体調のチェックを行い、休憩時間にラジオ体操を実施、各グループで月1回話し合いを持ち目標をたてた。

就労関係では、1名が短時間勤務している会社に現在も安定して仕事を行えている。

実習希望のある利用者がパン製造販売・給食配膳にて実習を行った。

地域生活支援

- ①自立生活訓練：立石寮を利用した地域生活体験や GH への見学を実施。福祉館の利用者が住んでいる GH をみることで地域生活のイメージがつきやすく、今後の生活についての選択肢を増やすことができた。

レスパイト：5名 見学：4名

- ②社会体験：社会福祉法人いたるセンター パン工房 PukuPuku に見学（7/9・13）
作業の様子や商品などの説明を開き、接客態度や衛生面、パンのアイデアの声があがり、刺激を受け働く意欲につなげることができた。
給食配膳チームは NPO 法人フレンズ すてんぱれ今川に見学（2/17・3/15）

(2) 生活介護事業所

4月からキッチンキッス移管にともない4名の利用者が異動、新入館者2名と、8月と9月にも新入館者2名をグループに迎え総勢37名となった。

今年度から福祉館の日常清掃と食品グループの白衣や布巾の洗濯を始めた。館内の清掃は1日のスケジュールや清掃の仕方を見直し、練習を重ねながら担当の利用者を中心に行う事が出来た。7月より生活寮の清掃を請け負い週に2回ラブと週に3回第七生活寮の共有部分の清掃をおこなっている。また法人の共同のお墓、利用者のお墓の清掃も請け負い、外での作業活動の場が増えてきた。洗濯業務は汚れがのこっていたり、上手く洗濯物をたためていない事が多かった。作業スペースも狭く課題を残した。

軽作業は北星鉛筆が昨年度に作業ミスがあり作業工程が変更、難しくなった為作業を受ける事が出来なかった。また、12月でNYAが終了した。受注作業の種類が多かったため、東京金属工業・リベラル・児玉産業の作業をやめ、整理をおこなっている。

ウエス作業は11月に学習外出を行い松戸育成会の「あゆーる」を見学した。利用者も参考になったように見学した感想の発表を行い、全員の意識向上をはかった。

食品グループと連携しパンの袋詰めや販売、配達をおこなった。特にチラシ配りを積極的におこないパンの売り上げ向上に貢献できた。

健康面では高齢の利用者を中心に看護師とPTの指導をあおぎながら定期的に機能訓練を実施した。薬を飲み忘れる事があり、確認方法について見直しをおこなった。

「利用者心得」をもとに7月・11月・2月に教養講座をおこなった。互いを思いやる気持ちや自立を意識する事について学習する事が出来た。またシルバー外出や創作活動、余暇外出をおこなった。

○売上実績 4,388,283円（目標：450万円）

①受託作業実績 3,356,191円（目標：360万円）

・清掃&洗濯 1,840,572円

・シラコ 371,116円 ・北星 2,250円 ・リベラル 72,576円

・NYA 182,059円 ・小笠原 205,738円 ・藤和照明 187,695円

・かわら版 221,040円 ・ぱど 117,518円 ・その他 155,627円

②自主生産 1,032,092円（目標：90万円）

・ウエス 702,260円 ・アルミ缶 140,070円 ・お茶 148,870円 ・その

他 40,892 円

○作業工賃関係

- ・就労継続 B 型事業所 月平均 25,588 円
- ・生活介護事業所 月平均 18,016 円 全体平均 21,593 円

○地域生活支援

・立石寮を利用して地域生活体験を実施。バス通所の取り組みも含めた訓練を行うことができた。

実施人数 6 名 見学 5 名

・今年度は一名の送迎利用者が通所訓練をおこない朝だけ自力で通えるようになった。

○作業外活動

- ①体力づくり
 - ・毎日 14:35 からラジオ体操を実施。
 - ・看護師指導のもと 5 名が機能訓練を継続し、12 月 10 日 PT による訓練の見直しを行った。
- ②地域清掃
 - ・毎月 1 回、バス停や近隣の清掃をおこなった。
- ③教養講座
 - ・毎月、定期的に話し合いを実施。月間目標をたてみんなの集まりで発表した。
 - ・11/5 学習外出 松戸育成会「あゆーる」
 - ・「利用者心得」をもとに教養講座をおこなった。
 - 7 月：「仕事と工賃」
 - 11 月：「思いやりのある行動とは」
 - 2 月：「寮生活について」
- ④余暇
 - ・ベランダにゴーヤで緑のカーテンをつくった。花壇で小松菜、チンゲン菜を栽培し収穫できた。
 - ・創作活動 夏「海の生き物の額縁」
冬「ひな飾り」
 - ・高齢者を対象にシルバー外出を実施。実施回数 回
 - ・余暇外出 ボーリング大会

2 余暇支援（グループ外出）

利用者に外出場所を選んでもらい、グループ外出を企画した。外出先によっては、人数の偏りがあったが、楽しんでいた。企画・お知らせも利用者と打ち合わせし、一緒に作成した。

ドロップと連携し希望者の休日外出を企画し実行した。

3 就労援助

R.Hさんはマクドナルド新小岩北口店での短時間就労を継続している。5月28日に職場訪問し仕事の様子を見た。洗い物の作業をしておりとても一所懸命やっているとの話しだった。

昨年度3月に西水元福祉館の清掃業務に就労したY.Eさんのアフターケアを行った。6月まで東京ジョブコーチにより支援をしてもらい仕事の流れは出来たが8月末に担当職員の異動があった事や本人が馴れてきたこともあって許容範囲だが自己流の動きが見え始めている。そのため職場訪問を定期的に行い様子を確認した。今後については企業側の方針が決まっていないため、確定したら年度末を目処に本人と面談を行う予定。

S.Yさんは個別支援計画面談の際清掃業への就労の意志を見せており、中間的就労の喫茶ミモザを行ったが初めての接客で馴れておらずイライラする様子もあったが最後まで仕事する意志を見せていた。その後1月に高砂にあるのぞみ発達クリニックの清掃業務を見学し本人もやる意思を見せたため2回の実習を経て3月16日付けで採用となった。

葛飾区就労支援事業（葛飾区補助事業）

葛飾区障害者就労支援センターと連携し、実習や中間的就労を通じて福祉館利用者の働く意欲の底上げや自信を高め、外部での社会的経験が出来るよう努めた。

具体的には区役所、喫茶ミモザ、カフェチャチャチャ、自転車リサイクル工房における中間的就労、就労支援センターでの実習などがあげられる。

【中間的就労】

| 実習場所 | 実習期間 |
|----------------|-------------|
| ①カフェ CHACHACHA | 9月28日～10月8日 |
| ②カフェ CHACHACHA | 11月9日～19日 |
| ③カフェ CHACHACHA | 2月15日～25日 |
| ④カフェ CHACHACHA | 3月14日～24日 |
| ⑤区役所実習 | 9月16日 |
| ⑥区役所実習 | 11月16日 |
| ⑦区役所実習 | 12月7日 |
| ⑧区役所実習 | 2月下旬 |
| ⑨ミモザ実習 | 9月14日～18日 |
| ⑩ミモザ実習 | 1月18日～22日 |
| ⑪ミモザ実習 | 3月7日～11日 |
| ⑫リサイクル工房 | 9月8日～17日 |

4 保健

利用者の日常観察が徹底されていて、職員が異常に気がついたときにはすぐに保健担当に連絡があり対応が速やかに出来た。

- ①2名の利用者が入院したが、退院後治療しつつ仕事に復帰している。
- ②骨折した利用者が3名（宿泊旅行中・寮・個人旅行）いたが2名は通院治療にて完治、1名は治療中。
- ③膝関節症及び腰痛にて治療中の利用者が4名いる。その他にも腰痛を訴える利用者が6名いる。

(1) 健康管理

- ①毎月の体重測定を行い、体重表を配布した。
毎月血圧測定を行い健康様態の目安にしている。

- ②定期健康診断（8月25日）
全員受診（欠席者は他の業者にて受けてもらった。）
結果については家庭に連絡し、再検査及び現在も経過観察中。

- (2) 歯科健診（6月15日・1月13日） 歯磨き指導（7月13日・2月16日）
結果をお知らせし治療中の方もいるが、歯磨き指導では全体的に上手に磨けていると医師より評価を受けている。

(3) その他

- ①機能訓練の必要な利用者（5名と五十肩治療中の1名）を対象にPT（理学療法士）による訓練の見直しを行った。先生より後退している様子は見られないので、皆さんが頑張っている事が良く解ると言われた。

嘱託医との連携

毎月1回の内科相談では、健康診断の結果及び血圧の変動のある人、糖尿病の人、体調の悪い人の話を聞いてもらい、治療に結びつける事が出来た。

衛生管理

細菌検査（検便）は、給食従事者（利用者・職員）月1回・パン従事者（利用者・職員）は年4回、その他の利用者・職員は、年1回行っている。

職員の健康管理

11月～12月で年1回健診センターにて実施した。

5 全館行事

利用者が楽しみにしている宿泊旅行は7月に大洗に行った。宴会でのカラオケ大会など利用者もおおいに楽しんだ。課題として、高齢の利用者も多くなり今後の宿泊旅行のやり方等を検討する必要があるが出てきている。

還暦を祝う会を9月に行った。やまもも祭は去年は7月に行ったが、今年度は元に戻し10月25日に行った。天候にも恵まれ盛大に行われた。

忘年会はホテルシェラトンで行った。多くの家族の参加もあり各グループ趣向を凝ら

した出し物と、食事を楽しみながら一年間を振り返った。

毎月第一出勤日にみんなの集まりを行なった。各グループが話し合いで決めた目標を利用者が順番で発表したり、月間「努力賞」の表彰をして、利用者のモチベーションアップに繋がっている。

| 行事名 | 開催日 | 参加者・内容等 |
|--------|-----------|---|
| 宿泊旅行 | 7月23日～24日 | 大洗 利用者55名 職員20名 法人職員1名 |
| 還暦を祝う会 | 9月1日 | 対象利用者：Y・I 利用者59名 職員18名 法人職員2名 他2名 |
| やまもも祭 | 10月25日 | 利用者60名 職員24名 ボランティア78名 来場者約400名 |
| 忘年会 | 12月19日 | ホテルシェラトン 利用者57名 職員23名 家族11名 来賓3名 |

6 地域交流

【地域交流】

11月24日に南奥戸小学校4年生対象の福祉館見学を実施した。福祉館はどのような場所でのどのような作業をしているのか、障害とは何だろうということを学んでもらった。

また、12月3日、7日、8日の3日間で南奥戸小学校を訪れ交流会を実施した。フリスビードッチやダンス・合唱鑑賞など楽しい時間を過ごした。交流会以降、チラシ配りや地域清掃などで行き会おうと声をかけてくれるようになり、利用者それぞれが地域の一員であると感じることができている。後日、南奥戸小学校の生徒より交流会感想文を頂いた。

【ボランティアの受け入れ】

外部の方との交流を通じて地域住民との相互理解を深めるために、ボランティア募集を行った。やまもも祭では78名の方がボランティアとして参加した。高校生や社会人の方、また三年続けて参加して下さった方も数名おり、利用者の個別のニーズに対応することができた。当日は怪我もなく無事に終えることが出来た。

7 利用者自治会

今年度は自治会役員のうち1名が就職を果たしたため、臨時に選挙を行って新たなメンバーを加え、スタートした。役員も2年目ということもあり、自分の役割や何を行うかを理解しており、自ら提案を行ったり、それぞれが自治会役員である自覚をもって運営に取り組む事ができた。職員も模索しながらであるが、自治会役員との相互の協力の元、その運営の援助を行うことができています。

主な活動

- 5月7日 利用者自治会選挙
- 7月23～24日 宿泊旅行（バスレク、宴会司会、カラオケ）
- 9月1日 還暦を祝う会（司会、会場作り、プレゼント用意）
- 10月25日 やまもも祭（模擬店出店）
- 12月19日 忘年会（マドレーヌ用意）
- 12月25日 クリスマス会（運営、プレゼント用意）

8 家庭との連携

連絡帳を活用して福祉館での様子を伝え、家族からは本人の情報を得る等家庭との連携を図った。又、連絡帳で伝えられない事は電話連絡や面談を行った。GHに入居している利用者には必要に応じ合同処遇会議を行った。

定例家族連絡会

| | | |
|------|------|------|
| 開催日 | 4/22 | 6/10 |
| 出席者数 | 18名 | 21名 |

6月の家族連絡会では通常の連絡会の他に、グループホーム、ケアホームを利用している家族の話を聞く会としても開催した。実際にグループホームに入居させている家族の様々な経験談は在宅の家族にとって励ましや参考となった。

9 リスクマネジメント

転倒事故2件、薬の飲み忘れ3件、宿泊旅行時の足の骨折、1月の避難訓練では職員と利用者がぶつかりおでこにけがをする事故が起きた。清掃委託時に、第七生活寮の浴室のお湯を出しっ放しで退室してることがあった。また受注したパンの製造忘れや種類のまちがい等が6件あった。その都度対策を講じたが、同じようなミスが続いてしまうことがあり、パンの窓口を1本化した上で職員間のコミュニケーションを密にとるようにした。

自動車事故に関しては、7件。送迎のために停車中のリフト車の右のミラーが走行車両にぶつけられて破損することが2回起きたため、送迎の際の停車位置を変更した。リフト車で曲がる際に壁やポールにこする事故が多かった。

10 広報活動

奥戸福祉館全体の活動を伝える家庭向けの通信を定期的に発行した。

原町かわら版は法人の広報委員と協力し発行した。

ホームページ、パン工房ももちゃんのブログ、フェイスブックを定期的に更新した。

Ⅲ管理運営

1 職員研修

(1) 外部・内部研修・講習会参加実績

| 研修・講習会・会議名 | 開催日・場所 |
|----------------------------------|-------------------|
| 改正食品表示法による食品表示作成の研修 | 4/20 千代田区 |
| 食品衛生講習会 | 5/13 葛飾区区役所 |
| 寄り添う支援とは～対人支援をソーシャルワークの枠組みで再考する | 5/25 渋谷区 |
| 第3会カフェ・喫茶ショー | 6/18 江東区 |
| 福祉人材センター 採用時合同研修 | 6/23～6/24 文京区 |
| 職場内コミュニケーションの円滑化とミーティングの活性化を目指して | 7/7 飯田橋 |
| 社会福祉法人・施設会計基礎実務研修 | 7/7 7/28～7/29 新宿区 |
| 内部研修・成人期ダウン症者の支援 | 7/10 館内 |
| 「記録の書き方」 | 7/29 飯田橋 |
| てんかん基礎講座 | 8/4～8/5 港区 |
| ダウン症成人期対応セミナー | 8/23 港区 |
| 福祉施設・事業所に求められるマイナンバー制度の理解と対応 | 9/1 渋谷区 |
| 福祉従事者研修・職員育成の視点と方法を学ぶ | 9/7 |
| 食品衛生実務講習会 | 9/11 葛飾区 |
| マイナンバー対策セミナー | 9/15 日本橋 |
| 逆境や困難に負けない強い個人と組織に作り方 | 9/15 中央区 |
| 私たちの支援力アップと虐待を許さないチーム作り | 9/17 飯田橋 |
| 高齢者対策委員会見学研修 | 9/24～9/25 北海道 |
| 発達障害者相談支援研修 | 9/26、10/4 新宿区 |
| 工賃アップセミナー | 9/18 文京区 |

| | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 全国知的障害福祉関係職員研究大会 | 10/14～10/16 高知県 |
| 工賃アップセミナー実践編 | 10/15、11/4、11/20、1/15 東京都庁 |
| OJT スキルアップ講習会 | 10/29～10/30 飯田橋 |
| 重症心身障害者の意志決定支援 コミュニケーションツールの活用 | 11/19 渋谷区 |
| サービス管理責任者研修 | 11/25～11/26 文京区 |
| 「チーム運営に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ」 | 11/30、12/7 新宿区 |
| 施設における看護職の役割 | 1/9 文京区 |
| FVP いい働く場づくり隊 | 1/16 2/12 |
| 知的発達障害部会 「事例報告会」 | 1/23 |
| 知的障害者移動支援従事者養成研修 | 1/30～1/31 |
| 三和産業展示会 | 2/22 |
| 施設見学研修（むさしの作業所） | 3/24 |

防災安全管理

(1) 訓練時は本田消防署へ自衛消防訓練通知書を届け出のうえ実施した。

| 実施日 | 訓練内容 |
|-------|---------------|
| 4月27日 | 消火器訓練（職員、利用者） |
| 5月25日 | 地震による避難訓練 |
| 7月13日 | 火災による通報、消火訓練 |
| 9月28日 | 地震による避難訓練 |
| 1月25日 | 通報、消火、避難訓練 |
| 2月29日 | 防災教育 |
| 3月29日 | 総合訓練 |

(2) 葛飾区地域防災無線の定期通信訓練を行った。（毎月第3水曜日）

(3) 火気施設点検を実施した。

(4) 防災用伝言ダイヤルにメッセージを吹き込む訓練を行った。（毎月1日・15日）

3 苦情解決事業

地域より1件の苦情があった。